

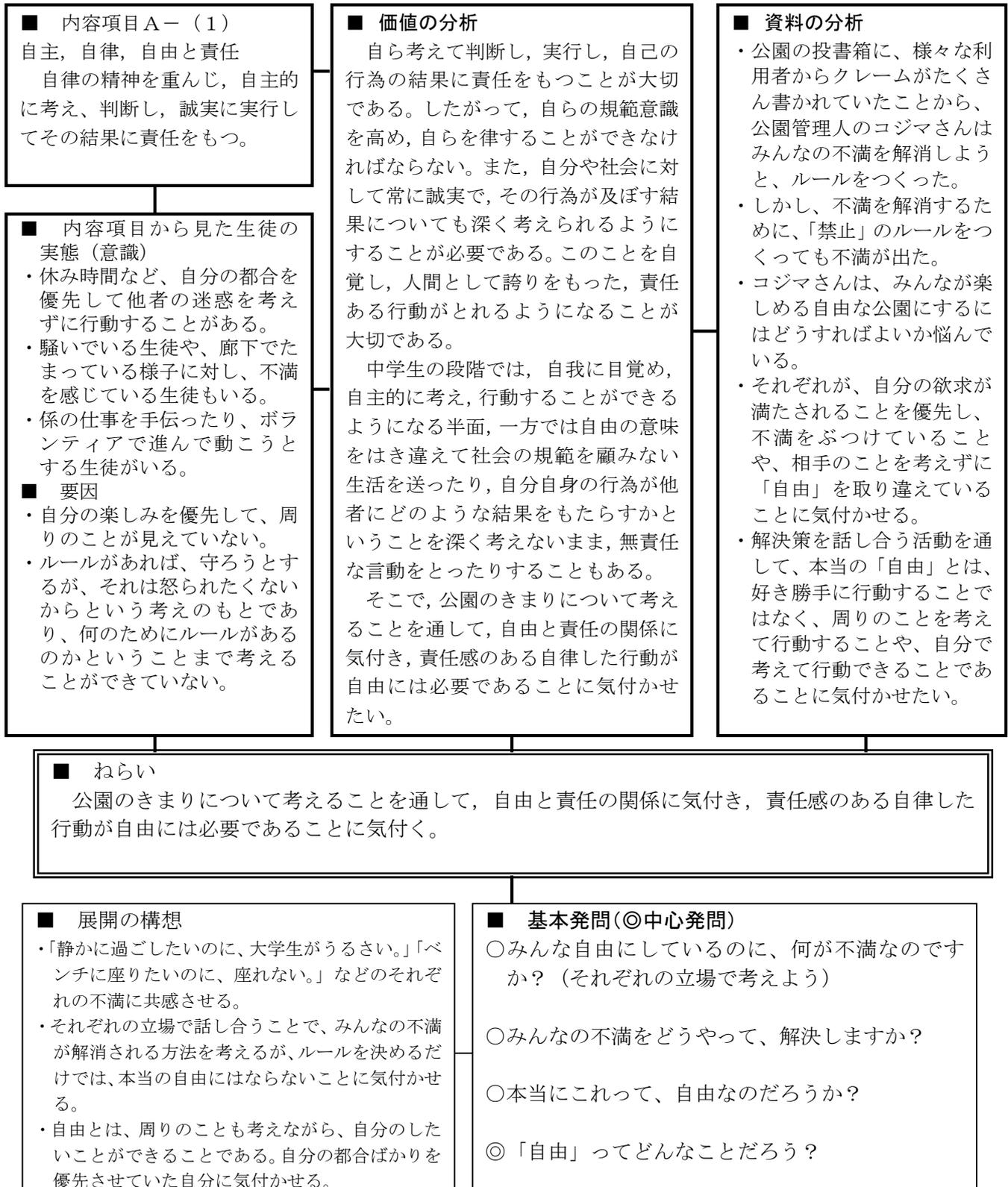
# 第2学年 道徳学習指導案

日時 平成29年6月28日(水)  
第5校時(13:50~14:40)  
学級 2年B組(男子9人、女子12人)  
場所 北和中学校 2年B組教室(南舎2階)  
授業者 三田村 美晴

## 1 主題構成表

主題名：自由と責任 自律

資料名：『みんなの自由な公園』 (出典) NHK for school ココロ部



2 学習指導過程

段階	基本発問と予想される生徒の反応	指導・援助
導入	<p>1 「自由」について、考える。 ○「自由」とは、どのようなことですか？ ・自分の好きなことができること。 ・自分の好きなようにできること。 ・ルールに縛られないこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意図的な指名により、自由のイメージを明確化し、自由の良さをクローズアップさせるようにする。</li> </ul>
展開前段	<p>2 「みんなの自由な公園」(1' 31~5' 09) を視聴する。(投書箱で利用者の苦情を知ったところまで) 3 それぞれの立場になって考える。 ○みんな自由にしているのに、何が不満なのですか？ (b) 静かに過ごしたいのに、うるさいのだよ。 (c) 犬のフンが迷惑。汚いし。 犬なんて、連れてくるなよ。 (d) サッカーボールが飛んできて危ないわ。 子供にぶつかったら、どうしてくれるのよ。 (e) だって、疲れてもベンチに座れないんだもん。 僕たちだって座りたいよ。 (a) みんな不満ばかりで、困ったなあ。</p> <p>○あなたは、どうやって解決しますか？ ・話し合う。 ・ルールを作る。</p> <p>4 映像の続きを視聴する。(5' 09~8' 45)</p> <p>5 ココロ自由公園会議を始めます。みんなが楽しく過ごせるように話し合いましょう。 ・楽器はやめてほしいな。 ・じゃあ、楽器を弾いていい時間を決めたら？ ・ベンチの近くではサッカーしないでください。 ・ベンチは人が来たら、譲ることにしませんか？</p> <p>7 自由について、再度考える。 ○本当にこれって自由なの？ ・自由じゃない。ルールじゃないかもしれないけど、約束が決められているもん。 ・やりたいのに、制限があるのはなあ。 ・最初の(板書)自由とは、違うなあ。</p> <p>◎「自由」って、どんなことだろう？ ・周りのことを考えながら、自分も楽しめるように行動すること。 ・自分勝手にやることとは、違うかも。 ・自由には、気遣いが必要。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視聴前に、登場人物を提示し、考えるべき立場を決めておく。(役割の名札を配布する) (a) コジマくん(管理人) … 5班 (b) 田中さん… 4班 (c) 大学生… 3班 (d) 主婦… 2班 (e) 小学生… 1班</li> <li>・それぞれの立場の言葉で、なりきって発言するように助言する。</li> <li>・映像からわかることだけでなく、それぞれの立場の気持ちも問い、自己中心的な思いをじっくり引き出し、共感できるようにする。</li> <li>・「本当にそれだけですか？」と問い、多くの不満、心の本音、素直な感情を吐き出せる。</li> <li>・この映像でもルールを作ったが、うまくいかず、さらなる不満が出たことを知る。</li> <li>・それぞれの立場になりきって、発言できるように助言する。</li> <li>・「それだけで、いいのですか？」と問い、たかさんの要望を出させることで、よりよい解決方法を導けるようにする。</li> <li>・みんなが納得できる解決方法を、板書にまとめる。</li> <li>・最初の「自由」と、話し合った解決方法を見比べられるようにする。</li> <li>・最初の自由から離れられない場合、「みんなが自由にしているけど、楽しくなかったよね？」「それって、みんなが自由？」と問い、自分にとっての自由が周りの人の自由を奪う可能性があることに気付かせる。</li> <li>・本当の「自由」とは、何かじっくり考える時間を確保する。</li> </ul>
展開後段	<p>8 実生活での自由に過ごしている場面を思い浮かべ、振り返る。 ○実生活での自由の過ごし方は、どちらかな。振り返ろう。 ・休み時間に教室で大きな声で話していたのは、自分のことしか考えていなかったのかもしれない。 ・休み時間は自由な時間だけど、自分のことだけ考えずに、周りのことを気遣えばよかった。 ・休日に電車に乗ったとき、周りの人の迷惑を考え、静かに乗車することができている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役割の名札を外し、自分のこととして考えられるようにする。</li> <li>・自分の行動をみつめられるように、自由な時の具体例を挙げる。(休み時間、帰宅後の自分の時間、休日など)</li> </ul>
終末	<p>9 書いたことを、交流する。 ・</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意図的な指名で、本時学んだことを学級に広める。</li> </ul>

3 道徳の時間（本時）と他の教育活動との関連  
 <場の内容・ねらい>

